

# クロアチア情勢

## 主な出来事

2014年6月

### 内政

- 2日、汚職・組織犯罪対策本部(USKOK)は、先月のリニッチ前財務相によるミラノビッチ首相に対する告発を受けて、警察に対し、同告発内容の捜査を命令。
- 4日、社会民主党(SDP)幹部会が開催され、ミラノビッチ党首(首相)が提案したリニッチ前財務相の党除名を賛成多数で可決。また、7日、SDP常任委員会において、リニッチ前財務相の党除名を決める投票が実施され、賛成多数で可決。正式にリニッチ前財務相の党除名が決定された。
- 11日、ミラノビッチ首相が、オストイッチ保健相及びヨバノビッチ科学・教育・スポーツ相を解任。両閣僚後任に、シニシャ・バルガ・クロアチア健康保険組合庁長官(保健相)、ベドラン・モルナル・ザグレブ大学電気工学部教授(科学・教育・スポーツ相)を指名。
- 12日、クロアチア民主同盟(HDZ)は、ブコバル市にて幹部会を開催し、コリンダ・グラバル＝キタロビッチNATO事務総長補を、本年末に予定される大統領選挙の同党候補者として擁立する旨公表。
- 13日、クロアチア最高裁は、サナデル元首相に対し、旧ユーゴ紛争時におけるヒッポ銀行からの不当利益授受、及びハンガリーの石油会社MOL社からの収賄に関し、懲役8年半の有罪判決。
- 15日、ブコバル市の前倒し市長選挙及び議会選挙を実施。右市長選挙では、いずれの候補者も過半数の得票を得られなかったため、29日、上位2名による決選投票が行われ、HDZ主導の政党連合候補であったイバン・ペナバ候補(HDZ所属)が、サボ前市長を抑え当選。
- 16日、クロアチア政府は、行政部門の補助サービスについてスピンオフ・モデルを導入することを決定。同モデルでは、補助サービスに従事する公務員を引き受ける新しく公的企業を設立し、年間約2億8千万クーナの経費削減を見込んでいる。
- 17日、ザグレブにおいて、HDZ党大会開催。
- 18日、クロアチア議会は、バルガ・クロアチア健康保健組合庁長官、及びモルナル・ザグレブ大学電気工学部教授の大臣就任を賛成多数で可決。
- 20日、チャチッチ前人民党(HNS)党首(前第一副首相兼経済相)が刑期を短縮され、刑務所から出所。
- 20日、USKOKがリマツ・クニン市長(HDZ所属)他2名の汚職容疑の捜査開始。

●26日、ブコバル・スリエム県議会は、5月中旬の洪水で被害を受けた同県東部ゲーニャ町、ドゥレノブツィ町、ブルバニャ町における被災総額が17億クーナ以上になると発表。

●28日、5月に洪水被害にあったゲーニャ町に「スープ・キッチン(被災地での炊き出し)」がオープン。毎日2000食を提供。

## 外交

●2日、ジュカノビッチ・モンテネグロ首相がクロアチアを訪問し、ヨシポビッチ大統領、ミラノビッチ首相、レコ議会議長と会談。クロアチアは、モンテネグロのEU・NATO加盟に向けて支持することを強調。

●2日、ハーグに設置されたクロアチア・スロベニア領海・海上境界画定問題の仲裁裁判所において、両国代表からの口頭審理が開始(審理は13日まで実施)。クロアチアからはプシッチ第一副首相兼外務・欧州問題相が出席。右審理終了後、17日、クロアチア・スロベニア領海・海上境界画定問題のために設置された仲裁裁判所が、今月2-13日に実施した両国からの口頭審理の結果を発表。両国を法的に拘束する仲裁裁判所判決は、本年末もしくは2015年初めに発表される見込み。

●2日、ザグレブにて、クロアチアとトルコ間の友好関係の20周年記念式典が開催され、ヨシポビッチ大統領が出席。

●3日、ヨシポビッチ大統領は、ワルシャワで開催された、ポーランドにおける民主的選挙開始25周年記念式典に出席。右式典には、オバマ米大統領も出席。同日夜に開催された夕食会において、ヨシポビッチ大統領はオバマ大統領にエネルギー及びエネルギー安全保障分野におけるクロアチアの潜在力を伝えた。

●7日、メシッチ前大統領が、ヨシポビッチ大統領特使として、ポロシェンコ・ウクライナ大統領就任式に出席。

●8日、プシッチ第一副首相兼外務・欧州問題相は、「第17回国際経済学協会世界会議」に出席のためヨルダンを訪問。

●16日、レコ議会議長及びドブロスラビッチ・ドゥブロブニク・ネレットバ県知事は、クロアチア訪問中の孫政才・中国共産党中央・政治局委員重慶市党委書記率いる中国共産党中央政治局常務委員会代表団らと意見交換。

●19-20日、ヨシポビッチ大統領は、ブルカルテール・スイス連邦大統領の招待により、クロアチア大統領として初めてスイス・ベルンを公式訪問。ディディエ・ブルカルテール大統領、ルエディ・ルステンベルゲル・スイス連邦議会議長等と会談。

●20日、レコ議会議長は、クロアチア訪問中のスクリス欧州司法裁判所長官と会談し、欧州司法裁判所の役割、裁判官選挙、クロアチアの司法制度につき懇談。翌21日、ヨシポビッチ大統領と同裁判長が会談。EU法の正当性を審議する裁判所の役割の重要性や法の解釈及び適用の一体性につき懇談。

- 20日、ミラノビッチ首相、アレンカ・ブラトウセク・スロベニア首相、ベルネル・ファイマン・オーストリア首相がスロベニアのブルドー・プリ・クラニューにて三者会談。地域情勢及びEU情勢につき意見交換。
- 22－23日、コトウロマノビッチ防衛相がアルバニアを訪問し、エディ・ラマ・アルバニア首相及びミミ・コドヘリ・アルバニア防衛相と南東欧情勢、地域間協力の重要性、欧州・大西洋統合等につき意見交換。
- 26日、ミラノビッチ首相は、EU加盟各国首脳と共に、ベルギー北西のイーペルで開催された第一次世界大戦100周年記念式典に出席。
- 28日、ヨシポビッチ大統領は、サラエボで開催されたフランツ・フェルディナント大公夫妻暗殺事件(サラエボ事件)100周年記念行事に参列。
- 30日、レコ議会議長及びコトウロマノビッチ防衛相が、クロアチア訪問中のアレックス・ペトリアシュビリ・グルジア外相と会談。

## 経済

- 2日、欧州委員会は、クロアチアを含むEU28加盟国に対し、「2014年国別改革計画」を発表。クロアチアに対する8つの欧州委勧告を公開した。
- 4日、欧州委員会は、クロアチアを含む非ユーロ圏8カ国(クロアチア、ブルガリア、チェコ、リトアニア、ハンガリー、ポーランド、ルーマニア、スウェーデン)のEU加盟国に対し、単一通貨ユーロ導入に関する条件を満たしているかを評価した報告書を公表。同委員会は、クロアチアは5つの基準(インフレ率、財政赤字、公的債務、長期金利、為替レートの安定)のうち2つの基準(インフレ率及び長期金利)を満たしている旨言及。
- 10日、ザグレブ県裁判所は、ヘルナディMOL社(ハンガリーの石油企業)最高経営責任者のサナデル元首相への賄賂容疑に関し、有罪判決を下す。
- 18日、クロアチア政府は、2014－2020年度における「EU構造・結束基金(EU structural and cohesion funds)」の資金吸収のための制度枠組み設立法案を採択。
- 21日、ミラノビッチ首相及びヤコビナ農業・森林相が、ザダルのマグロ畜養会社3社(カリ・ツナ社、ヤドラン・ツナ社、ペラゴス社)を訪問。
- 23日、クロアチア統計局が、5月の失業率を発表。4月の21.1%から19.6%と減少し、2013年9月以来の低水準となった。
- 24日、クロアチア政府は、「労働法改正案」を採択。
- 25日、ファイナンシャル・タイムズ誌が、EU圏内で最も経済情勢が劣悪な国をクロアチアと発表。
- 26日、クロアチア経済会議所(HGK)において、中国商工会議所主催の「クロアチア・中国・ビジネスフォーラム」が開催。農業及び食品産業における両国の協力可能性について協議。
- 27日、アグロコル社(小売業最大手)が、スロベニアの大手小売業メルカトルの経営権及び株式の過半数(約53%)を買収。
- 27日、クロアチア統計局は、同国における工業生産性が、昨年同月比1.2%上昇したと発表。

## 主要経済指標

(2014年1～4月期, 対前年同期比(除く失業率), 政府統計局発表)

輸出総額 (1～4月)	輸入総額 (1～4月)	貿易赤字 (1～4月)	工業生産高 (5月)	インフレ率 (5月)	失業率(登録制) (5月)
+15.8% (245億クーナ, 32.0億ユーロ)	+8.8% (421億クーナ, 55.0億ユーロ)	+0.3% (175億クーナ, 22.9億ユーロ)	+1.2% (4月:+0.6%)	-0.2% (4月:-0.5%)	19.6% (4月:21.1%)

本クロアチア情勢は、クロアチアの政治・経済情勢を中心に各種報道、発表をとりまとめたものですので、記載事項については在クロアチア日本大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。